

The 59th Concert of
**Philharmonic
Ensemble
Orchestra**

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団
第59回演奏会

2015年9月19日(土)
Saturday, September 19th, 2015

開場 Open	17:00	開演 Start	18:00
------------	-------	-------------	-------

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

全席指定：S席 ¥3,000 A席 ¥2,500

シベリウス生誕150年



■ ヴァイオリン
山根 一仁

Violin : Kazuhito Yamane



■ 指揮
矢崎 彦太郎

Conductor : Hikotaro Yazaki

シベリウス / 交響曲第7番 ハ長調 作品105
Sibelius / Symphony No.7 in C major Op.105

シベリウス / ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47
Sibelius / Violin Concerto in D minor Op.47

シベリウス / 交響曲第1番 ホ短調 作品39
Sibelius / Symphony No.1 in E minor Op.39

■ 管弦楽

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団

Philharmonic Ensemble Orchestra

コンサートマスター

永峰 高志

(元NHK交響楽団首席奏者)

プレイガイド

- ◆ キョードー東京 0570-550-799
- ◆ チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 257-493)
- ◆ CNプレイガイド 0570-08-9999
- ◆ ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード: 33010)
0570-000-407 (オペレーター対応)
インターネット予約 <http://l-tike.com/> (パソコン・携帯)
- ◆ イープラス <http://eplus.jp>
- ◆ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

※0570で始まる番号は一部の携帯・PHS・CATV電話からの接続不可

矢崎 彦太郎 (指揮者)

Hikotaro Yazaki (Conductor)

1947年東京生まれ。4才よりピアノを始め、上智大学数学科に学んだ後、同大学から東京芸術大学指揮科に再入学、金子登、渡邊暁雄、山田一雄各氏に指揮法を学んだ。

日本フィル指揮研究員として小澤征爾の助手を務めた後、東京ユース・シンフォニー・オーケストラのスイス演奏旅行に同行、公演後ヨーロッパ各地を移り住みながら、スワロフスキー、チェリビダッケなどに師事。

ブザンソン国際指揮者コンクールなどに入賞を果たし、1975年ボーンマス交響楽団皮切りに本格的に指揮活動を開始、BBC響などに招かれる。1979年よりパリに拠点を移す一方、同年には東京交響楽団定期を指揮し日本にも本格的なデビューを果たす。また、ダニエル・ブスフィエ作曲「オンディーヌ」の世界初演でオペラにも活動の場を広げて以来、ポルドー歌劇場、二期会、関西二期会にも招かれている。

これまでに、東京交響楽団指揮者、旧西ドイツフィル交響楽団(西独)音楽監督・首席指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者などを歴任。また、2000年よりバンコク交響楽団名誉指揮者を、2004年から2009年まで同楽団音楽監督・首席指揮者、2005年よりジャカルタのヌサンタラ交響楽団音楽監督、2009年よりガラヤニ ワタナ オーケストラ指揮者を兼任。

2000年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを、2008年には同オフィシエ勲章を受勲。2002年エクソンモービル音楽賞奨励賞を受賞。パリ在住。

山根 一仁 (ヴァイオリン)

Kazuhito Yamane (Violin)

1995年生まれ。

2010年、中学校3年在学中に第79回日本音楽コンクール第1位、レウカディア賞、黒柳賞、鷲見賞、岩谷賞(聴衆賞)、並びに全部門を通して最も印象的な演奏・作品に贈られる増沢賞も受賞。同コンクールで中学生の1位は26年ぶり。

以後、秋山和慶、井上道義、梅田俊明、大友直人、高関健、広上淳一、山田和樹等各氏とN響、都響、東響、新日本フィルをはじめ国内のオーケストラと共演を重ねる。ベルリン・フィル五重奏団、マキシム・ヴェンゲロフ氏との共演、トッパンホール『エスポワールシリーズ No.11』に最年少で抜擢される等、注目を集めている。

テレビ・ラジオへの出演もNHK-Eテレ『ららら♪クラシック』、テレビ朝日『題名のない音楽会』等多数。

第60回横浜文化賞文化芸術奨励賞を最年少受賞。12年岩谷時子音楽財団第2回『Foundation for youth賞』受賞。

12年13年度ロームミュージックファンデーション奨励賞学生。第43回江副記念財団奨励賞学生。現在、桐朋学園大学ソリストディプロマコース特待生。

これまでに故富岡萬、水野佐知香、原田幸一郎の各氏に師事。

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団

Philharmonic Ensemble Orchestra

1976年立教大学交響楽団OBにより結成。1979年に初の主催演奏会を開くにあたり、広く門戸をひろげ、一般の社会人オーケストラとして東京を中心に自主運営活動が続いている。「ホールも楽器の一部」の基本理念から演奏会場も音響の良いホールを求め、本拠地東京のみならず、国内外の名ホールを訪

ねる演奏旅行なども企画。

1992年ニューヨークのカーネギーホール等で、初の海外公演。1998年、ウィーン楽友協会大ホールにて日本をモチーフにした曲などを紹介する。

2000年北京、2002年ベルリンのフィルハーモニーホールで日本の優秀作品などの紹介にも努めている。

2004年3月、レオンカヴァッロ作曲のオペラ「ラ・ボエム」をトヨタコミュニティコンサートの一環として日本初演、音楽関係誌で絶賛される。

2007年7月に小林研一郎指揮で第3回ヨーロッパ演奏旅行を実施。ハンガリー/ブダペストにてベートーヴェン「第九」、オーストリア/ウィーンにてマーラー「復活」を演奏し好評を博す。

2009年7月、アムステルダム コンセルトヘボウ サマーコンサートに招聘され、小林研一郎指揮でマーラー「復活」(交響曲第2番)を演奏。満席の聴衆からスタンディング・オベーションを受ける。

2010年11月、三枝成彰団長の六本木男声合唱団倶楽部に同行し、イタリア/ミラノ大聖堂にて、三枝成彰作曲「レクイエム」を演奏。

2012年、7月チェコ/ドヴォルザークホールにて、小林研一郎指揮のもと、チャイコフスキー/交響曲第5番等を演奏し、スタンディング・オベーション等の喝采を浴びる。

演奏会のライヴCDのほか、ベルリンフィルのソロ・トランペット奏者コンラディン・グロート教授とCD「トランペット協奏曲集」。ベルリンフィルのソロ・トロンボーン奏者オラフ・オットとのCD「トロンボーン協奏曲集」をカメラータ・トウキョウからリリース。

2012年、ドヴォルザークホールにてのライヴCDをオクタヴィアレコードからリリース。

【今後の演奏会予定】

●第60回演奏会 2016年2月21日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 指揮:小林 研一郎 独奏:仲道 郁代 (予定)

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線、池袋駅、西口より徒歩2分

2 minutes from Ikebukuro St., West Exit

(JR, Tokyo Metro, Tobu Tojyo, Seibu Ikebukuro Line)

未就学児童の入場はご遠慮願います。

No preschool children admitted.

* 託児所あり。

要事前予約 / 有料

お問合せ 東京芸術劇場代表: 03-5391-2111

(10:00~19:00 休館日を除く / 1週間前までに予約)

Advance reservations are required. / fees apply

TEL: 03-5391-2111